

やざわ 矢沢たかお

自由民主党 川崎市議会議員

NEWS

みなさん、こんにちは。川崎市議会議員（宮前区選出）の矢沢孝雄です。本年4月から、自民党川崎市議団副団長を仰せつかることになりました。また、常任委員会では、市民文化局・子ども未来局・教育委員会を所管する文教委員会に所属し、4月2日開催の委員会において、委員長を拝命致しました。GIGAスクール関係、差別のない人権尊重のまちづくり条例、市立図書館・市民館・文化施設、オリパラ・スポーツ施設関係、子ども施策全般などが議題となる委員会でもあります。職責を全うできるよう努めて参ります。

Photo:平瀬川にて撮影

Vol. 21
2021 January
～
2021 April
討議資料



第1回定例会予算審査特別委員会での質問3項目

1 川崎市行政手続のオンライン化 ～誰もが利用出来る「オンライン化手続きへ」～

行政サービスの利便性や質を一層向上させる為、4月から総務企画局に職員35名体制の「デジタル化推進室」を設置していくことが公表されました。市は、約2,500種類ある行政手続きの令和4年度末までに原則オンライン化を掲げています。現在、宮前区において進んでいる「向丘出張所の機能強化に向けた検討」を含め、今後の取り組みを伺いました。

Q 行政手続きのオンライン化にとっても要となるのが、「マイナンバーカードの普及促進」に向けた取り組みです。直近では、健康保険証としての利用、2022年度にはスマートフォンと一体化、2024年度には運転免許証との一体化等に向けて検討が進んでいます。2021年3月現在の本市におけるマイナンバーカード交付率は約28%とのことですが、今後の見込みと普及にあたっての課題を伺います。

A 本市のマイナンバーカード交付率については、来年度の申請件数を、今年度と同程度と想定した場合、累計交付数は約80万件となり、およそ50%程度となる。

次に、交付申請に対する現状等については、これまで、国の施策等に合わせ、マイナンバーカードセンターの整備や区役所の体制強化などを行いながら、対応してきたところだが、現在、申請件数がさらに増加しているため、一層の強化に向け、交付予約枠の拡充をはじめ、要員や統合端末、交付場所の確保等が課題となっている。

今後は、大量の申請を適切に処理するとともに、申請状況を詳細に分析したうえで、区役所と連携しながら、より多くの市民の方が円滑にカードを取得できるよう、対応策について検討していく。

Q インターネットに接続出来れば自宅でも職場からでも行政手続が可能となる将来が思い浮かぶ一方で、取りこぼす事なく、誰もが、手続のオンライン化による利便性を享受できる仕組みが必要です。今後益々重要となってくるデジタルデバインド対策の拠点となり得るのが、既存の支所・出張所と考えています。

具体的には、(仮称)オンライン手続支援要員を配置し、インターネットに接続した行政端末の操作から入力、申請までをサポート出来るようにするなどの取り組みです。行政手続きのオンライン化の動向を見据えた区役所・支所・出張所の在り方を検討していく必要があると考えますが、見解を伺います。

現在宮前区においては、向丘出張所の在り方検討が進められてい

ます。来年度中に基本方針策定を目指していますが、こういった点を十分に考慮した方向性とすべきですが、見解と今後の取り組みを伺います。

A 本市では、「区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版」に基づき、手続の種類によって、区役所と支所・出張所を使い分けることなく、1箇所が必要な全ての窓口サービスを提供できるようにするなど、わかりやすく利便性の高い窓口サービスの提供に向けた取組を進めているが、行政手続のオンライン化に伴う、デジタルデバインド対策の1つとして、区役所等での対応のあり方についても、検討していく必要があるものと考えている。

また、向丘出張所の機能のあり方については、令和3年度中の「(仮称)向丘出張所の今後の活用に関する方針」の策定に向けた取組を進めているところなので、令和4年度末を目指した行政手続のオンライン化の動向とも整合を図りながら、検討していく。



行政手続きの中には、実際は対面で取り扱ふべき業務も多く存在します。一方で、年間取扱件数が非常に多く、書類上のやり取り等、簡素な手続にも関わらず、区役所窓口で直接訪ねなくては受付ができない業務も多々あります。今回は、「行政手続き」という観点で、向丘出張所の機能強化を議論致しましたが、地域活動の拠点、地域包括ケアなど、様々な観点をういた議論も必要だと考えています。

2 【都市農業】 特定生産緑地指定の推進



当方ホームページで質疑の内容等を掲載していますのでご確認いただければ幸いです。

QRコード読み取りで詳細内容が確認できます

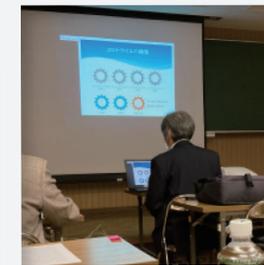
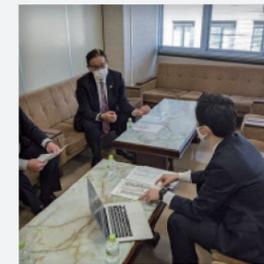


3 【防災】 宮前区総合防災訓練の充実

日々、どういった活動をしているの!? 矢沢たかおの 日々の活動

活動の一部を写真で紹介します

令和3年2021 1月 ▶ 4月



主な議会 スケジュール

1月 ・ 常任委員会

2月 ・ 第1回定例会 (2月15日～)
・ 常任委員会

3月 ・ 第1回定例会 (~3月19日)
・ 予算審査特別委員会
・ 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会定例会

4月 ・ 常任委員会
・ 各種委員会

5月 ・ 第2回定例会 (正副議長選挙含む)
・ 常任委員会

6月 ・ 第2回定例会
・ 常任委員会

しっかり聴く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください!

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山 1-20-12

電話 044-976-2727

FAX 044-976-8686

mail (新)mail@yazawa-t.info

矢沢たかお 検索

https://www.yazawa-t.jp/

twitter facebook



第1回川崎市議会 定例会のご報告

令和3年度新型コロナ対応の取組 217億円

- 生活困窮者を対象とした住居確保給付金 7.7億円
- 生活自立・仕事相談センターの運営 2.5億円
- 中小企業を対象とした融資資金繰り支援 106.4億円
- 「新しい生活様式」に対応した経営支援の実施 3.3億円
- 就業支援や求人企業へのマッチング支援の実施 1億円
- 感染症等に乘じた特殊詐欺被害防止のため、高齢者に迷惑電話防止機器を無償貸与
- 児童養護施設や母子生活支援施設等の感染症対策を実施
- 経済的に困難な若者への就労自立支援の対象年齢を39歳まで拡充
- 医療的ケア児の生活場面に応じた支援を総合的に調整する相談支援機関の開設、人工呼吸器の災害用電源等の購入補助などを実施
- 市立学校における感染症対策、学校施設の改修や消毒液等の購入 16億円
- PCR検査の実施やコールセンターの運営等 15.6億円
- 保健所等の感染症対策備品等の購入・購入支援 5.4億円
- かわさきGIGAスクール構想の推進に 12.5億円
- 高齢者フリーパス等のICT導入の推進 8.6億円

第2弾川崎じもと応援券

令和2年度一般会計補正予算の中の「第2弾川崎じもと応援券推進事業」については、予算規模が15億円と縮小されており、プレミアム分も10億円に減額（第1弾では約26億円。応援券1万円に対してプレミアム分が3千円から2千円へ）されている点や委託経費が約5億円となっている点などについて市の方針を質しました。

自治体は予算執行において最大の効果を生み出さなければならぬ中で、事業費の3分の1が経費となっている点について追及し、さらに第1弾の実施時から寄せられていた「額面1千円券よりも5百円券の方が使い勝手が良い」という声を踏まえ、利用者ニーズのみならず商店街や飲食店の意向が反映されていない部分も指摘しました。

この事業案については、答弁の「予算規模は妥当」「経費5億円は販売窓口の混雑回避のための郵送費用等として」「プレミアム率を下げたのは発行枚数を増やし多くの市民に利用してもらうため」さらに「額面1千円券にすることで1回の利用金額アップが期待できる」といった内容に懸念する声もありました。今後、この事業が市民及び市内事業者に対し消費需要の効果的な喚起策となるよう、準備の進捗などにあわせ慎重に注視して参ります。

全国都市緑化かわさきフェア

今般、川崎の未来へと題して、いよいよ川崎における全国都市緑化フェアの基本構想案が示されました。令和3年度より、都市緑化フェアを推進していく為、建設緑政局緑政部に「緑化フェア推進担当」が設置されます。そこで、構想案を作るに際して、本市における都市緑化フェアの最も重要となるテーマと目的について伺いました。あわせて、本市開催の特徴や式典会場、開催時期等についても伺いました。

答弁では、市制100周年の節目となる令和6年度の緑化フェアの開催に向け、現在、かわさきフェア基本構想の策定に取り組んでいる事を前提に、初めに、かわさきフェアのコンセプトについては、『Green For All!』として、みどりは、すべての人に等しく存在し、まちづくりや暮らしのすべての場面で多様な効果を発揮するため、その活用により、みどりのムーブメントを起こしていく事を目的としている。」と答弁がありました。

続けて、かわさきフェアの特色として、「みどりが持つ力を使って、川崎らしく、次の100年により豊かな環境をどうつないでいくのかを市民の皆さんと一緒に考え、行動するきっかけとするため、フェアを開催し、川崎のみどりを全国に向けて発信していく。」と答弁があり、式典会場や開催時期等については、「式典や行事については、富士見公園を想定しており、スケジュールや内容については、来年度策定を予定している基本計画において公表していく考えである」と答弁がありました。

豊かな都市環境を形成する上で、緑の充実は欠かすことが出来ません。本取組は、次の100年の緑行政に大きく係るものです。引き続きしっかりと推進してまいります。



矢沢たかお プロフィール

- 昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる（35歳）
- 川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業
- 法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部 卒業
- 平成20年 伊藤忠テクノソリューションズ（株）入社
- 平成26年 政治活動に専念するため同社を退社・平成27年川崎市議会議員（宮前区）初当選・平成31年二期目当選
- 令和3年度 文教委員会 委員長
- 趣味：剣道四段（五段に向け修行中）、空手二段、書道 毛筆三段 硬筆二段

川崎市新型コロナワクチン接種について

令和3年2月17日から令和4年2月28日までの間でワクチン接種の取り組みが全国で進んでいます。今回は川崎市におけるワクチン接種に関する取り組みの状況をお伝えしてまいります。尚、記載の内容は令和3年4月初旬時点での情報となります。その時点での最新情報をご確認頂きますようお願い致します。

1. 市内の陽性者発生状況

令和3年4月9日時点での陽性者数は、市内9,351人（宮前区内1,065人）

年代別では、20代、30代、40代、50代の順で多く、全体の約68%を占めている



2. 接種にあたって

接種対象者 接種を受ける日に、原則、住民基本台帳に記録されている16歳以上の方 ※接種を受ける費用は「無料」

国による接種順位の考え方

重症化リスクの大きさ等を踏まえた順位で接種を実施

- ①医療従事者等
- ②高齢者
- ③高齢者以外で基礎疾患を有する方・高齢者施設等の従事者・60歳から64歳の方
- ④それ以外の方

3. 高齢者の接種スケジュール等

対象高齢者の人数

- 75歳以上 約15万人
- 65～74歳 約15万人

※65歳未満の方の接種券の発送は、各ワクチンの供給量等に応じてスケジュールを決定



接種券の発送及び接種スケジュールのイメージ

	令和3年	4月	5月	6月	7月	8月以降
高齢者（75歳以上）		●4/20 接種券発送	第1回目接種	第2回目接種		
高齢者（65歳～74歳）		●4/28 接種券発送	第1回目接種	第2回目接種		
基礎疾患を有する者			基礎疾患の申出期間		第1回目接種	第2回目接種
高齢者施設等の従事者		接種調整（入所施設）		接種調整（入所施設以外）	第1回目接種	第2回目接種
60歳～64歳の者			●5月中旬以降接種券発送		第1回目接種	第2回目接種
上記以外の者				●5月下旬以降 順次接種券発送（年齢により細分化）		上記の接種状況を踏まえ、接種を実施

4. 接種体制の基本的な方向性

3つの接種体制を軸に市民へのワクチン接種を展開

- 集団接種：各区1か所程度（市民館等）の接種会場を設置。宮前区の会場は宮前市民館。
- 個別接種：医療機関の接種体制・ワクチンの移送体制を構築し、600以上（目標）の協力医療機関による個別接種を開始予定。
- 巡回接種：高齢者施設等の嘱託医等の協力による巡回接種を実施。

- 接種開始**
- 集団接種 5月11日（火）開始予定
 - 個別接種 5月10日（月）開始予定
 - 巡回接種 4月12日（月）順次開始予定

5. ワクチン接種に関連する取組

副反応への対応

- 集団接種会場における救護・応急対応
- コールセンターによる一般的な副反応に関する相談対応など

※下記、いずれかの方法で予約

予約方法	利用にあたって
ワクチン予約コールセンター	電話番号：044-200-1080 対応時間：8時30分～18時（土日祝日も対応） 対応内容：①集団接種会場での接種予約の受付、変更、キャンセル ②転入・紛失等による接種券の再発行
ワクチン予約サイト	URL：https://v-yoyaku.jp/141305-kawasaki 対応時間：24時間 対応内容：集団接種会場と協力医療機関（一部）での接種予約の受付、変更、キャンセル

※新型コロナ感染症に関する一般的な相談は、下記コールセンターでの受付

川崎市新型コロナウイルス感染症
コールセンター（受付：24時間）

電話番号
044-200-0730